

安全情報：冬季の自動車運転について

2014年11月1日

昨年は記録的な積雪に見舞われたミシガン州ですが、今年も同様に厳しい冬になることが十分考えられます。冬場の自動車運転は路面の凍結の他、降雪によって視界が悪くなるなど運転環境の悪化による交通事故や整備不良による車の故障が多く見られる時期のため要注意です。「私は大丈夫。」といった過信は禁物です。冬場の運転に慣れている方も、当地で初めて冬を迎える方も、次に挙げる5つのことを心がけ、安全な冬をお過ごし下さい。

- 1. 積雪時の運転のご注意：**冬季には積雪や路面の凍結によるスリップ事故が多発しています。スピードを抑えて、車間距離を十分にとり、急ハンドルや急ブレーキ、さらに急な車線変更などはしないように心掛けて下さい。よくある誤解として「ABSが付いているから雪道でもすぐに止まれる。」、「四駆だから雪道でも平気。」などありますが、どちらも間違いです、過信せずに速度を落として下さい。踏み固められた雪の上は、歩いても転ぶほど氷結しているので注意が必要です。運転中に吹雪で視界が悪くなったときには絶対に無理をせず、安全な場所で待機して視界が良くなるのを待つのが賢明です。やむを得ず運転する場合には、昼夜を問わず必ずライトを点灯し、前の車が走った跡のわだちに沿ってゆっくり走行して下さい。
- 2. 駐車時のご注意：**冬場に車を長時間駐車する場合、サイドブレーキを引いておくと、凍結により戻らない場合がありますので注意して下さい。また、積雪によりワイパーがフロントガラスに凍り付き、故障したり曲がったりしてしまうこともありますので立てておくことをお勧めします。さらに、駐車する際には風向きにも気をつけて下さい。風雪が吹き付ける方向にエンジンを向けていると凍結や雪によりかからなくなる場合もあります。また、雪によって車のマフラーが塞がれてしまうと、車内に排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の危険性があります。
- 3. 冬特有の現象にご注意下さい**
アイスバーン：雪が凍結、解凍を繰り返し、雪が氷状になったものがアイスバーンです。特に発進・停止の多い交差点や晴れた日のカーブの日陰などにできていることが多く、非常に滑りやすいので注意が必要です。特に橋の上は一般道路と比べて湿気が多いため、路面が凍結しやすくなっています。
フリージングレイン：極度の低温時に起きる現象で、降ってきた雨水の滴がフロントガラス等に当たる瞬間に凍って視界を遮ってしまいます。運転者にとっては前方だけでなく、全ての窓の視界を奪われるので非常に危険です。外出中に遭遇したときは、安全に停車することを最優先に、車内の暖房を強め、特に吹出口の風向をデフロスター（窓のマーク又はDEF）にして視界を確保し、ゆっくりと走行して下さい。

い。同様に、気温の下がった冬場にワイパー液を使用すると、フロントガラスに当たる瞬間に凍って視界を奪われることがあり非常に危険です。

4. **車の点検と積載品の準備**：冬場に人気のない場所で車が故障して動けなくなると、生命の危険に及ぶことも考えられます。本格的な冬に備え、次の事項を確認しておいて下さい。

車の点検：冬用タイヤへの交換（空気圧）、バッテリー、オイル、不凍液（antifreeze）の濃度、ワイパー液、ガソリンの量（常に半分以上の余裕を持つ）、各種ライトなど

積載品：雪落としスクレイパー、バッテリー用ケーブル、牽引ロープ、携帯電話用充電器（予備電池）、非常用の食料・飲料水、防寒着・毛布・耐寒手袋・防寒ブーツ、携帯スコップ、懐中電灯等、工具類、レッカー業者等（AAA）の連絡先など

5. **普段から天候・交通に関する情報収集を**：悪天候などが予想される場合には外出を控えることが賢明です。普段からテレビやラジオ、インターネット等で気象情報や交通情報に触れるよう心がけて下さい。

- アメリカ気象局(national weather service)
<http://www.weather.gov/>
- ミシガン交通局 (Michigan Department of Transportation)
<http://michigan.gov/mdot/0,4616,7-151-9615-227821--,00.html>